※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「論理国語」（大修館書店）						
副教材等	新訂版　正しく読み・解くための力をつける現代文　ステップ 2.5（数研出版） シグマベスト　現代文単語ノート　改訂版（文英堂） 改訂版　プレミアムカラー国語便覧（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会に出るうえで必要となる基礎的な国語力を身に付けていきましょう。
・ICT 機器を効果的に用いて学習し、グループディスカッション、発表、文章記述といったさまざまな活動を取り入れた授業を行います。
・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・定期考査は、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。
・毎時間意欲的・積極的に授業に臨んでください。

2　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自己と他者 ［教材］ 内田樹「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b [読] ：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。また、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート 授業態度
	メディアの変容 ［教材］ 多木浩二「消費されるスポーツ」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b [読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。また、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：学習課題に沿って、具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート 授業態度
2学期	言語の探究 ［教材］ 鈴木孝夫「人を指す言葉――自称詞・対称詞・他称詞」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b [読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。また、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：学習課題に沿って、本文中の根拠に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート 授業態度
	政治と社会 ［教材］ 坂井豊貴「多数決を疑う」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b [読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。また、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート 授業態度

※令和４年度以降入学生用

		c：学習課題に沿って、筆者の問題意識を把握しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。			
3学期	存在への問い ［教材］ 鷲田誠一「日常に走る亀裂」	a：使用されている語句の定義を確認しつつ理解を深めている。また、文や文章の接続の仕方や構成をとらえ、論の形式について理解を深めている。 b［読］：内容・構成を的確にとらえ、筆者の意図と考えられることとの関係をとらえている。また、筆者の思考をふまえて、既有の知識や経験を基に自分の考えを深められている。 c：従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート 授業態度

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　１０　　）時間

・書くこと　…　（　　２５　　）時間

・読むこと　…　（　　４５　　）時間